

## 新たな院長外来「内科・血液内科」（令和2年7月2日開始） について：

これまで血液内科専門医として培ってきた知識と経験を生かし、難治性・原因不明の貧血、多血症、白血球増加・減少、血小板増加・減少、高蛋白血症（高 $\gamma$ グロブリン血症）、リンパ節腫大、原因不明の疼痛などに関する診療を行ってまいりました。

血液内科医は患者の訴えに耳を傾け、全身の所見を見逃さず丁寧に診察することを旨とし、難治性血液疾患の治療を通じて、あらゆる臓器の合併症についても精通しています。そこで今後は上記の疾患に加え、体重増加・減少、長引く不定愁訴（倦怠感、微熱※、不眠）など診療科の決定が困難な症状や、新型コロナウイルス感染症に関連するストレス、血液疾患に関するセカンドオピニオン、さらにはがん治療と就労の両立支援についても、幅広く相談をお受けいたします。

症状の原因や診断が確定すれば、その領域の専門医に速やかにご紹介致します。

病院長 入江 誠治

※ 新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、事前に帰国者接触者相談センターなどでPCR検査をお受け下さい。